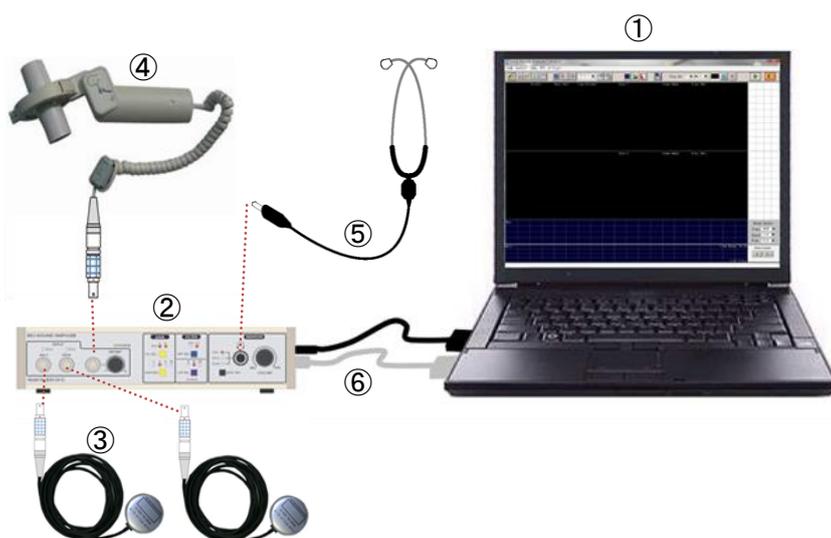


肺音解析システム

Lung Sounds Analyzer LSA-2012

■主な構成

- ①: PC: パーソナル・コンピュータ
- ②: BSA: バイオ・サウンド・アンプ
- ③: バイオ・サウンド・センサー(×2)
- ④: フローセンサー(呼吸相検出用)
- ⑤: 耳管式イヤホン
- ⑥: USB ケーブル(×2)



ー備考ー

- ・PC にはシステムソフトウェア(LSA-2012/SYS)がインストールされている
- ・データ集録デバイスはBSAに内蔵されている

製品番号一覧

No	品番	名称	型式番号	チャンネル数	PC有無	定価(万円)
1	N/A					
2	0251B002	肺音解析システム U/SSF/S	LSA-2012/SS	3	×	160
3	N/A					
4	0251B022	肺音解析システム U/SSF	LSA-2012/STD	3	○	170

■特徴

BSA: バイオ・サウンド・アンプ

- ・肺音入力(×2)
 - フィルタリング機能
 - ハイパスフィルター(HPF): 30 及び 120Hz
 - ローパスフィルター(LPF): 800、1600 及び 2400Hz
 - ゲイン設定
 - 1, 2.5 及び 10 の4段階切替
- ・モニター
 - 集録中の肺音モニターが可能(チャンネル1 または 2)
- ・フロー入力
 - CHEST 社製: リリー型フローセンサーを装着

システムソフトウェア: LSA-2012/SYS

- ・Windows XP 以降の OS に対応
- ・吸気呼気の平均スペクトルパワーの計算
- ・計算結果をCSVファイルとして保存可能
- ・肺音データはWAVEファイルとして保存可能
- ・3チャンネル(肺音+肺音+呼吸相)同時集録可能



警告

本装置は、**研究目的用の機器**であり医療機器ではありません。
従って、本装置による**診断**及び**医療行為**は**出来ません**。

仕様

■ハードウェア

□PC

- OS Windows'XP 以降
- CPU PentiumMMX 233MHz 以上
- メモリ 512MB 以上
- ディスプレイ XGA(1024×768)以上
- USB 2.0 ×2 (一つは電源用)

□集録デバイス (BSA に内蔵)

- 最大サンプリングレート 10KHz
- 分解能 16Bits
- 基準電圧 10V
- インターフェイス USB 2.0

□BSA

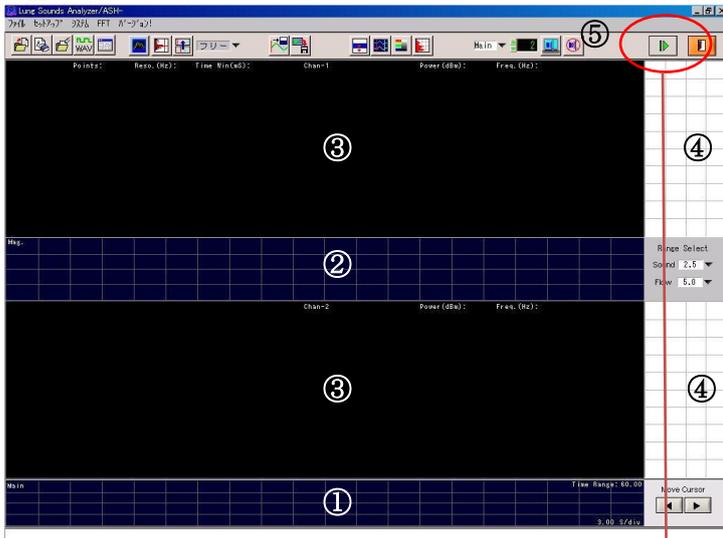
- 電源電圧 DC5V
- 消費電流 約180mA (アンプ部のみ)
- 大きさ(mm) 195(幅)×132(奥)×45(高)
(突起物は含まず)
- 重さ 約0.7Kg
- アナログ(肺音)入力チャンネル ×2
- フロー入力チャンネル ×1

□標準付属品

- バイオサウンドセンサ ×2
- フローセンサー ×1
- フローセンサー用専用ケーブル ×1
- USB ケーブル ×2
- 耳管式イヤホン ×1

■ソフトウェア

□メインパネル



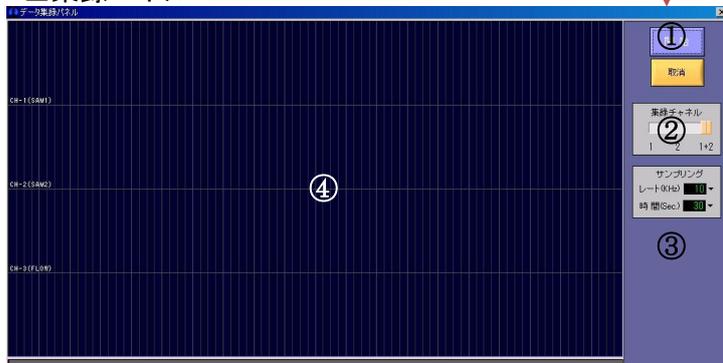
システムを立ち上げた状態では次の操作が可能。

- ファイルの読み込み
- 集録操作 (下図の集録パネルが開く)

パネルの解説

- ①集録 (読み込み) 波形を表示
- ②拡大波形を表示
- ③拡大波形のソナグラフ
横軸：時間 縦：周波数 パワー：(32色で表現)
- ④任意の時間位置でスペクトル波形の表示
横軸：パワー 縦軸：周波数
- ⑤ファイル操作、解析等のボタン群

□集録パネル



- ①集録を開始するボタン
- ②集録チャンネルを設定するスイッチ
- ③サンプリングの設定
 - レート
 - 時間
- ④集録波形表示グラフ

※集録中に②及び③の操作を行う新たに集録を開始

※その他の機能

- WAVE ファイルでの保存 (範囲指定可能)
- CSV形式により解析データの保存
- 波形編集機能 (任意の範囲の波形を保存可能)

※本仕様は予告なく変更になることがあります。予めご了承ください。